

ドローン物流における河川上空の活用円滑化に向けた石狩川(上流)の基本的考え方 (Ver.1.0)

策定 令和6年6月26日

本基本的考え方は、ドローン物流(ドローンを活用した荷物等配送)における河川上空の活用円滑化に向けた基本的な考え方を記載したものである。なお、本基本的考え方は、「ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドライン(国土交通省)」(以下、「ガイドライン」という。)を補完するものであり、本留意事項に記載のない事項は、ガイドラインを参照するものとする。また、本基本的考え方は、今後、さらにドローン物流が活性化し、複数のドローンが飛び交う将来を見据えて、適時適切に内容の見直しを行っていくものとする。

(基本的事項)

1. 関係法令等の遵守

ドローン物流にあたっては、関係法令及び地方公共団体が定める条例を遵守し、その他ガイドライン等を踏まえて運用すること。航空法及び地方公共団体が定める条例については、国土交通省航空局のウェブサイト(https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000003.html)や「ドローン情報基盤システム 2.0(DIPS2.0)」(<https://www.ossportal.dips.mlit.go.jp/portal/top/>)も参考に、最新の情報を確認すること。

(河川区域内の土地の使用及び河川上空を活用する際の対応)

2. 河川法上の許可等について

河川は、誰もが自由に利用できる公共の空間であり自由使用が原則であるため、他の河川利用者による利用を妨げるものでなければ、河川区域内の土地の使用及び河川上空(河川区域内の上空)においてドローンを飛行させる場合、河川法上の許可等の手続きは特段必要ない。

ただし、高水敷や堤防等の河川区域内の土地に離着陸、中継等のための施設などを設置し、排他的・継続的に使用する場合、河川法上の許可等の手続きが必要となる。河川区域内の土地には、河川管理者以外が所有する土地(民有地等)もあることから、土地所有者を確認すること。

(「排他的」とは、他の河川利用者の使用を排除し、自由な使用に優先して独占的に使用することをいう。「継続的」とは、河川上空の使用が相当期間継続して、又は相当期間内に反復して行われることをいう。)

旭川河川事務所が管理する河川区域内の土地については、以下の申請先に必要な手続きなど確認すること。

申請先：旭川河川事務所(電話番号 0166-48-2131)

住所 旭川市永山 1 条 21 丁目 3 番 21 号

旭川河川事務所の管理区間は別紙1に示す地図と河川管理区間一覧表にて確認すること。

河川管理区間一覧表

河川名	区間 上下流端	所 在
石狩川	上流端	左岸 上川郡上川町字菊水 333 番の 4 地先 右岸 同町字日東 20 番の 1 地先
	下流端	左岸 旭川市神居古潭 166 番地先(神納橋 下流端) 右岸 深川市納内町字納内 3954 番の 3 地先
石狩川	大雪ダム (上流端)	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道 G 上川 経営中部計画大雪事業区 116 林班か小班) 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 94 林班ぬ小班)
	大雪ダム (下流端)	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道 G 上川経 営中部計画大雪事業区 133 林班い小班) 右岸 同町同字未定番地先(北海道 G 上川経営中部計 画大雪事業区 46 林班わ小班)
ペンケチャロ マップ川	上流端	上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道基本計画北海 道 G 上川経営中部計画大雪事業区 55 林班い小班)
	下流端	石狩川への合流点
ニューチャロマ ップ川	上流端	上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道基本計画北海 道 G 上川経営中部計画大雪事業区 56 林班ろ小班)
	下流端	ペンケチャロマップ川への合流点
ホロカイシカリ 川	上流端	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道基本計 画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 128 林班 ぬ小班) 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事区 121 林班り小班)
	下流端	石狩川への合流点
シンパクノ川	上流端	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道基本計 画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 129 林班 ぬ小班) 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 129 林班り小班)
	下流端	ホロカイシカリ川への合流点

河川名	区間 上下流端	所 在
ルベシナイ 川	上流端	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先（北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 70 林班ろ小班） 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 59 林班ち小班)
	下流端	石狩川への合流点
由仁 石狩川	上流端	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 88 林班へ小班) 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 76 林班ら小班)
	下流端	ルベシナイ川への合流点
迷川	上流端	左岸 上川郡上川町字層雲峡未定番地先（北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 75 林班と小班） 右岸 同町同字未定番地先(北海道基本計画北海道 G 上川経営中部計画大雪事業区 71 林班ほ小班)
	下流端	ルベシナイ川への合流点
オサラッペ 川	上流端	左岸 上川郡鷹栖町字近文 571 番の 1 地先 右岸 同町同字 570 番の 1 地先
	下流端	石狩川への合流点
忠別川	上流端 (忠別ダム 含む)	上川郡美瑛町字忠別 2941 番の 7 地先の道道橋(下流端)
	下流端	石狩川への合流点
美瑛川	上流端	左岸 上川郡美瑛町字美瑛原野 7519 番地先 右岸 同町字置杵牛原野 7513 番地先(オヤウンナイ 20 号)
	下流端	忠別川への合流点
辺別川	上流端	左岸 上川郡美瑛町字下宇莫別 784 番の 1 地先 右岸 旭川市西神楽 511 番地先
	下流端	美瑛川への合流点
牛朱別川	上流端	当麻川の合流点
	下流端	石狩川への合流点
永山新川	上流端	牛朱別川からの分派点
	下流端	石狩川への合流点

また、河川区域内の土地の使用及び河川上空の活用にあたっては、河川管理上の支障が生じないようにするとともに、他の河川利用者や近隣住民の迷惑とならないよう努めること。他の河川利用者や近隣住民との間で問題が生じた場合は、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理すること。

3. 事故防止

河川上空をドローン物流で活用する場合、河川利用者や河川に設置している施設（施設利用者を含む）への影響を考慮し、ルート選定を含め、事故の防止、影響の最小化に細心の注意を払うこと。

4. 事故対応

事故が発生した場合には、事故の概要を速やかに所管の河川事務所等や関係機関に連絡するとともに、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理し、河川事務所等から指示があった場合には、その指示に従わなければならない。

石狩川（上流）を所管する河川事務所の連絡先は以下の通り。

連絡先：旭川河川事務所（電話番号 0166-48-2131）

5. その他管理者等への手続き

橋梁や送電線などの河川横断工作物等の許可工作物は、その施設ごとに法令手続きや関係者調整が必要な場合もあり、ドローン物流の運航事業者等において必要な手続き等を実施する必要がある。その場合、河川事務所等に関係者の有無、占用許可受者等の情報提供を求めることができる。

6. 河川利用等の状況把握

河川区域内において、防災訓練や花火大会その他の多数の者の集合する催しが行われている場合や工事を実施している場合にはその周辺の飛行が制限されること、また、ラジコン飛行場等として利用されている場合にはラジコン等を飛行させる者との調整が必要となることから、ドローン物流の運航事業者等は河川の利用状況を把握すること。河川区域内の催しや工事等については、河川事務所等から提供している情報を確認するとともに、必要に応じて河川事務所等に情報提供を求めることができる。

また、以下の河川区域内にヘリポートが設置されているため、飛行の際は位置の確認をするとともに、ヘリコプターの緊急離着陸の可能性があるため、近くにヘリコプターの存在を確認した際には速やかにドローンの飛行を中止すること。

ヘリポート一覧

名 称	所 在（緯度経度）
大雪ダム	上川郡上川町字層雲峡 （北緯 43 度 38 分 33 秒 東経 143 度 01 分 15 秒）
愛別地区水防拠点	上川郡愛別町南町 2 区地先 （北緯 43 度 54 分 07 秒 東経 142 度 34 分 15 秒）

永山新川 管理センター	旭川市永山町 13 丁目 (北緯 43 度 49 分 11 秒 東経 142 度 26 分 35 秒)
旭川地区河川 防災ステーション	旭川市東光 27 条 8 丁目 (北緯 43 度 43 分 37 秒 東経 142 度 24 分 52 秒)
忠別ダム貯水池 左岸上流望郷広場	上川郡美瑛町忠別 (北緯 43 度 37 分 33 秒 東経 142 度 40 分 40 秒)
美瑛地区水防拠点	上川郡美瑛町字藤野第一 (北緯 43 度 34 分 38 秒 東経 142 度 29 分 19 秒)

(飛行高さ及び運航調整)

7. 通常時の飛行

航空法の規定を踏まえ、河川区域内にある河川横断工作物等の物件の設置状況を確認し、地上又は水上の人又は物件との間に30m以上の距離をとることを原則とし、当該距離を確保可能な高度で飛行すること。また、河川事務所等がドローンを活用した河川巡視や施設点検等を行う場合や複数のドローン物流の運航事業者等が参入する場合などには、飛行ルート重複又は近接により調整の必要が生じることがあり、河川事務所等が場を設けて関係者で調整する場合等が想定されることから、その際には協議に参加すること。

8. 緊急時の飛行

洪水発生時や大規模地震発生時などの緊急時に、河川事務所等による被災状況調査や緊急物資の輸送を行う際、飛行ルート重複又は近接により調整の必要が生じた場合は、河川事務所等からの調整に応じること。

(その他)

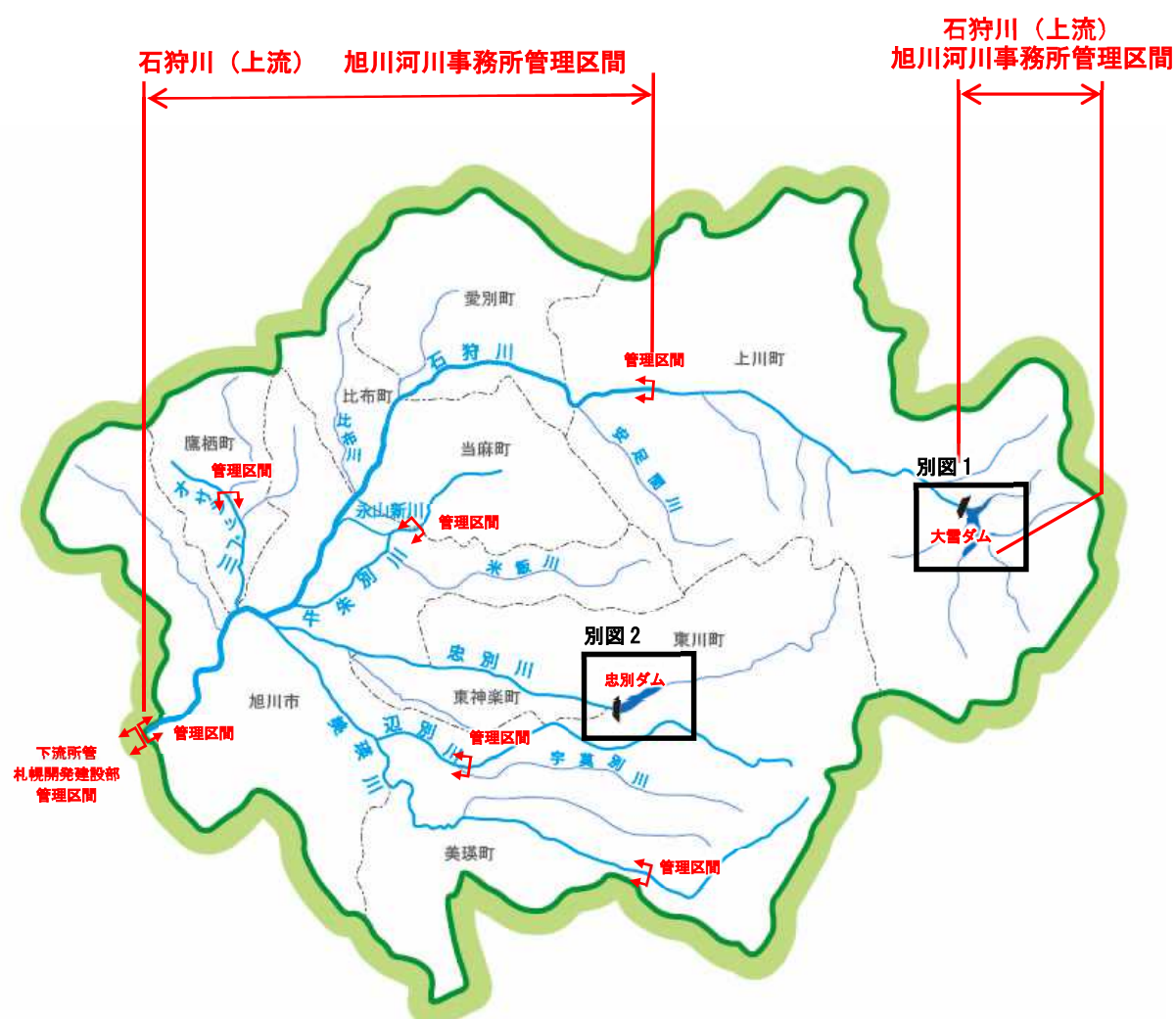
9. 各河川における情報提供など

石狩川、忠別川、辺別川の一部で飛行制限があるため注意すること。

別紙 2 のとおり。

※「運航事業者等」とは、ドローン物流の事業計画者及び運航事業者、サービス提供者を指す。

- ・「事業計画者」とは、物流事業者や地方公共団体など、物流網の維持や買物支援などの観点から、ドローン物流事業を計画する者をいう。
- ・「運航事業者」とは、事業計画者からの委託を受け、ドローン物流サービスの提供のため、ドローンを飛行させる者をいう。
- ・「サービス提供者」とは、運航事業者・物流事業者・携帯電話事業者・気象観測サービス提供者など運航に関する業務を行う者、商店・病院・薬局など配送される荷物等を提供する者及び配送先における配達人等をいう。



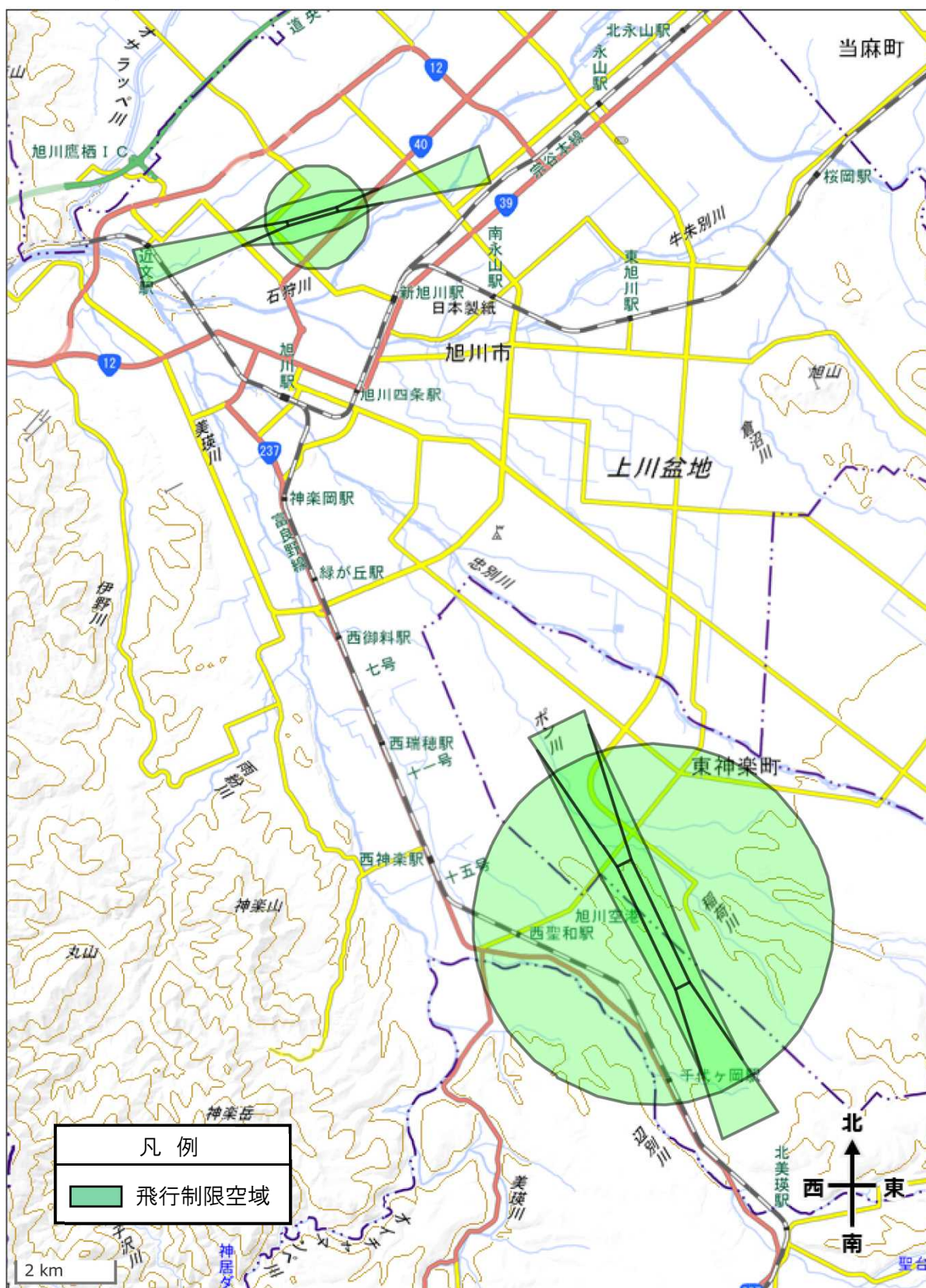
石狩川(上流)管理区間図



別図 1 大雪ダム管理区間図



別図 2 忠別ダム管理区間図

地理院地図
GSI Maps

石狩川(上流)飛行制限がある空域図